

学校法人 河原学園 未来高等学校 R7年度年間指導計画

教科	保健体育	科目	体育C	学年	3年次	単位数	2単位
教科書	大修館 現代高等保健体育			副教材	大修館 アクティブsports2025 総合版		
レポート 添削指導	6通	スクーリング 面接指導	8回	メディア 視聴票	4通	試験	2回
指導 目標	○運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。						
	○生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。						
	○運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しみ態度を養う。						
No	日付	レポート 提出日	単元	学習内容	面接 回数	メディア NHK高校講座 (ラジオ第20・EテレV)	
1	4月12日	5月31日	○豊かなスポーツライフの設計 ○ソフトボール	○生涯スポーツの見方・考え方 ・スポーツ科学のすすめ ・スポーツにかかわる商業 ○ライフスタイルに応じたスポーツ ・身のまわりの人のスポーツライフを調べてみよう ・自分でスポーツライフを設計してみよう ○ソフトボールのルール・基本技能	5	○30 思春期における健康課題と性行動の選択 ○31 妊娠・出産と家族計画 ○32 結婚生活と健康 ○33 中高年期と健康 ○34 働くことと健康 ▽6 卓球 ▽7 ソフトボール	
2	5月31日	11月15日	○豊かなスポーツライフの設計 ○卓球	○スポーツを推進する取り組み ・諸外国のスポーツを推進する取り組みを調べてみよう ○豊かなスポーツライフの創造 ○卓球のルール・基本技能	5	○35 大気・水質・土壌汚染と健康 ○36 環境衛生活動と環境と健康に関する対策 ○37 食品の安全性と食品衛生活動 ○38 豊かなスポーツライフの構造 ○39 保健サービスとその利用 ○40 医療サービスとその利用 ○41 医療品の制度とその利用 ○42 様々な保健活動や社会的対策 ▽10 豊かなスポーツライフの設計	
学習の成果に係る評価規準							
【知識・技能】							
○体育理論・・・豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解している。							
○ソフトボールでは、状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすることができる。							
○卓球では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができる。							
【思考力・判断力・表現力】							
○体育理論・・・豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。							
○実技・・・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。							
【主体的に学習に取り組む態度】							
○体育理論・・・豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組もうとしている。							
○実技・・・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、合意形成に貢献しようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること、互いに助け合い高め合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。							
○上記の評価規準に基づき、レポート及び課題等の提出物の状況、スクーリングに取り組む姿勢及びスクーリングに基づく成果、前期・後期2回の試験結果を総合的に判断して、評価を行う。							
○【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】【主体的に学習に取り組む態度】の3つの観点ごとに、それぞれ上位からA、B、Cの三段階で評価を行い、その観点別評価に基づき、総合的な評価を5段階（最上位を5とし、最下位を1とする）で評価する。							
単位の修得の認定に関する基準							
観点別評価に基づいて総合的に評価された5段階評価のうち、5～2の評価を受けた者に対して、科目に配当された単位数の修得を認める。							